

学び合って分かる授業蝶屋モデル

| 学習過程 | 区切り | 教師の指導 | めざす児童の姿 |
|------|-------------|--|---|
| 構え | チャイムスタート | ○はじめの挨拶 ●教師が見届ける | 「起立 今から○限目の△△の授業を 始めます 礼 着席」 |
| つかむ | 課題をつかむ | ○既習との違いに気付かせる ・前の学習との違いは何か ○思考させる課題をつくる ・～どうして○○になるのかな（理由） ・～するにはどうしたらいいかな（方法） ・～に気をつけて～しよう（観点） | 児童の心をつかむ学習課題の設定  |
| | 見通しをもつ | ○ゴールをイメージさせる | 資質・能力の共有 |
| 考える | 自己決定 をする | ○自力解決できる手立て ●自分の考えをもたせる ●既習をもとに考えさせる ●考える視点を提示、選択肢を用意する ●根拠（言葉・文・絵・図・表・実物）に線を引く ●順序だてて分かりやすく自分の考えを書く（ノート指導） | |
| 学び合う | | 伝えたいな。 聴きたいな。  ○目的を明確にした交流 ●目的をはっきりさせる 知る、増やす、確かめる、深める、広げる など ●効果的な学習形態を工夫する 全体交流、ペア学習、グループ学習、フリー交流など ●質問や感想を伝え合う ●反応しながら聴く ●根拠を指し示しながらわけを説明する | どうしてかな？ どこからそう思ったの？  既習・根拠を もとに考えを 書く・線を引く  |
| まとめる | 情報の整理 | ○思考を深めるための発問をする ●学びをつなげる問い返しや深めの発問 「どこ（どの文や言葉）からわかりますか」 「本当にいいのかな？」 「この場合はどうかな？」 | 獲得した学びを共有する  |
| | 課題のまとめ | ○課題に正対したまとめをする ●板書のキーワードを使って自分の言葉で書く ○活用・適用 「この問題でも使えるかな？」 「自分の生活の中でも考えられる場面はあるかな？」 | 今日のキーワードは…  |
| | ふり返り | ○ふり返りをする どんな力が身に付いたのかを中心に、ふり返りを書く ●次の学習に生かしたいこと ●わかったこと、考えたこと ●一番大切だと思ったこと | 今日わかったことは、 考えが深まったことは、  |
| | チャイムで終わる | ○終わりの挨拶をする ●教師が見届ける | 「起立 これで○限目の授業を終わります 礼 着席」 |